

大崎地域を世界農業遺産へ

vol.4 里地・里山の保全と大崎耕土の恵み②

大崎地域の世界農業遺産(GIAHS)の大切な要素である「大崎耕土の恵み」を生み出すもととなり、大崎耕土を隅々まで潤す「巧みな水管理」について紹介します。

わたしたちに豊かな恵みを与えてくれる「大崎耕土」は、鳴瀬川、江合川などの河川から得られる豊かな水資源を隅々まで潤す配水技術や、湖沼や湿地帯を水田にするための排水技術など、先人が築き上げた「巧みな水管理」のシステムによって、豊かな水田が広がってきました。特に伊達家の所領となった江戸初期、岩出山地域の大堰や内川の整備、加美町の蟬堰、原堰などの河川からの水を引くための整備と湿地帯から水を排水するための隧道や潜穴などの整備が大幅に進み、飛躍的に新田開発が進みました。

また、大崎地域には1,152カ所ものため池が農家を中心に管理されることで、洪水の防止や土砂の流出防止機能を発揮しています。これらの豊かな水資源は、シナイモツゴ、ドジョウなどの貴重な里山の生態系を保全する役割も担っています。

このように先人の築いた「巧みな水管理システム」は、わたしたちの生活に豊かな恵みを与えてきています。次世代を担う子どもたちに伝え、残したい大崎地域の大切な宝です。



桂沢ため池(鹿島台)と生きものたち
左:シナイモツゴ、右:ドジョウ



良好な管理がため池を守っている
(鹿島台地域)



【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osaki.miyagi.jp

世界農業遺産勉強会(第4回)

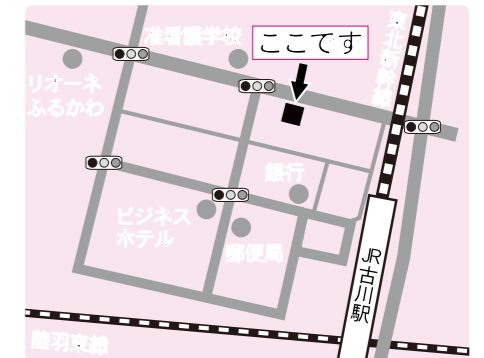
日時: 10月31日(土)
10時~12時
場所: 中新田図書館(加美町)
内容: 東北の契約講について ~講と農村の暮らし~
講師: 川島 秀一氏(東北大学災害科学国際研究所教授)ほか
定員: 50人
申込: 10月30日(金)まで、電話またはEメールで申し込み

「移住」「婚活」希望者を2つの支援センターがサポートします!

地方創生おおさき元気戦略の主要施策事業として、「おおさき移住支援センター」と「おおさき婚活支援センター」を9月19日に開設しました。民間事業者に業務委託し、希望者の意向にそった、きめ細かな支援を行ってまいります。

◎ 政策課元気戦略推進室 ☎ 23-2129

所在地 大崎市古川駅前大通2-4-5-1



おおさき移住支援センター

移住支援センターでは、空き家物件の紹介だけでなく、移住体験ツアーやトライステイ(お試し移住)のほか、不安を抱えがちな移住を希望する人の意向に寄り添って、移居前、移住後のコミュニケーション支援などを行います。

おおさき婚活支援センター

婚活支援センターでは、出会いの場の提供はもちろんのこと、婚活のスキルアップを目指すセミナーの開催や、仲人向けセミナーなど、より多くの皆さんの婚活をお手伝いし、人口減少・少子化対策の克服に向けて取り組みます。

詳しくは

- おおさき移住支援センター (愛称くーらす) ☎ 25-4493
委託事業者: NPO法人おおさき地域創造研究会
- おおさき婚活支援センター (愛称マリサポ) ☎ 25-5389
委託事業者: ㈱ラフデザイン

市内の各種団体が婚活イベントを実施する際、上限3万円の助成金(原則総合支所単位で1地域1団体)を支給します。

婚活イベントへの助成金支給



優良工事・優良業者を表彰しました

建設業者の施工技術の向上と育成を目的に、市が発注した建設工事を優良な成績で完成した業者を表彰しています。今年度は、14の建設業者を表彰しました。

◎ 検査課 ☎ 23-5169

平成27年度表彰(敬称略)

- 東北二チレキ工事㈱大崎営業所 ▶ 市道鬼首スキ一場線道路改良工事第2工区
- 我妻建設㈱ ▶ 平成26年度公共下水道(古川)2号幹線管渠築造工事
- 陽光建設㈱ ▶ 鳴子峡遊歩道法面対策工事
- ㈲石井土木 ▶ 平成25年度公共下水道(岩出山)東川原地内他管渠築造工事(その2)
- ㈱森建設工業所 ▶ 平成25年度市道鶴田線道路改良工事
- ㈱丸徳建設 ▶ 平成26年度市道東平渡1号線外舗装工事
- ㈱カネイ建設 ▶ 平成26年度公共下水道(古川)6-3号幹線管渠築造工事
- 東北舗道建設㈱ ▶ 平成26年度市道南町蓮田線舗装修繕工事
- ㈱江村工務店 ▶ 田尻地域災害公営住宅建設工事(建築)
- 東北相互建設㈱ ▶ 大崎市消防ポンプ置場設置工事(その2)
- 丸岩運輸建設㈱ ▶ 平成26年度二ノ橋高欄修繕工事
- ㈱ダイマル ▶ 平成26年度大崎市役所西庁舎空調設備更新工事
- ㈱北陵建設 ▶ 松山酒ミュージアムエアコン改修工事
- ㈱協栄工務店 ▶ 志田小学校校舎大規模改造工事(機械)

市長コラム 天・地・人

9・11豪雨災害

この度、関東地方、東北地方を襲った記録的な大雨は、8人の尊い命を奪いました。お亡くなりになった皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

本市におきましては、幸いにして人的被害はありませんでしたが、11日深夜の豪雨により、県が管理する洪井川など三つの河川で、9カ所が破堤する大洪水となり、浸水面積約3000ヘクタール、避難者最大2256人、家屋被害は床上浸水が205棟、床下浸水が490棟、農作物への被害面積は2628ヘクタール、土砂・がけ崩れ140カ所、工業・商業にも及ぶ多大な被害をもたらしました。



大崎市長 伊藤 康志

最近「ゲリラ豪雨」と称される局地的集中豪雨が多発しておりますので、9月5日にも、松山地域で「総合防災訓練」を実施するなど、平常時から、有事に備えて用心しておりました。今回の災害で、いち早く救出に当たられた自衛隊、警察、消防関係者。昼夜を分かたず応急復旧に当たられた国土交通省。がれき処理に当たられた支援団体。被災者支援に当たられたボランティアの皆様。全国各地から暖かい励ましやお見舞いを寄せていただいた皆様。心から感謝を申し上げます。

いま、懸命の復旧、被災者支援が続いておりますが、今回の豪雨災害から得た教訓、検証を踏まえ、警戒監視体制の強化、防災行動計画の充実、治水事業の促進など、一層、水害に強いまちづくりを実現してまいります。